

2011/5/25
第 25 号
(23 年 5 月号)

し の の め



長野県総合教育センター通信

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

次長挨拶

長野県総合教育センター次長 小口 一男

平成 23 年度の県教育委員会の重点施策は、「不登校対策」「高校再編」「特別支援教育」に、最重点課題として「学力・体力の向上」が加えられました。

総合教育センターでも、「豊かな人間性・自ら学び自ら考える力などの『生きる力』をはぐくむ教育の推進」という目標の下、今年度の研修事業がスタートしました。

希望研修には、合計で 6,000 名を超える教職員の皆さんから申込みを頂きました。講座ごとに定員を大きく超えるものや定員に満たないものなどが混在していましたので、講座受講決定作業を行い、それぞれの学校長を通じてお知らせしました。

再募集を行う研修講座については別途お知らせすることとしています。当初のご希望に沿った講座でなくても、少しでも役立つ講座を選択し、お忙しい日常を離れて、新緑と清澄な空気に囲まれた総合教育センターに、鋭気の充填のためにおいでください。



センター講堂の風景

5 月号と 6 月号では、センターに來所される多くの皆さんが利用される講堂とその周辺の新緑の風景を紹介します。



通常の講堂の風景

正面入口から見た講堂

センター内のあちこちで赤・ピンクや白のつつじの花が咲いています。



可動式の座席

講堂の後方に収納式、階段状の座席(336 席)があります。普段目にはありませんが、平面の座席と組み合わせると最大 700 名の収容が可能です。



講堂内から見える
ハナミズキ

白と紫の花が咲き始めた藤の花



ナナカマド並木

センター南端の桜並木から続くナナカマドの並木。白い小さな花をたくさんつけています。



教職教育部が4月、5月に実施した研修講座から3講座を振り返ります

◇高等学校初任者研修「教職基礎研修Ⅲ」

4月26日(火)に高等学校初任者研修「教職基礎研修Ⅲ」が行われました。教学指導課心の支援室長 小林善一先生の講義「長野県の不登校の現状と課題」により、不登校を初め、中途退学、いじめ及び暴力について長野県の現状と課題について理解し、予防的開発的生徒指導や実際に生徒指導を進める際の留意点について学びました。

また、東洋学園大学教授鈴木義也先生の講義・演習「カウンセリングの基礎・基本」により、カウンセリングの特徴や実際の流れを理解し、相手を理解するための「聞く」や「尋ねる」といった手法等を、演習をとおして学びました。

内容が多量であったため、今後の研修で内容を深めていくことが課題として残りました。

<受講者の感想から>

- ・生徒の背景を把握し、生徒の気持ちを受容する大切さと、信頼関係を築き上げた後、指導をしていく流れの大切さを学びました。
- ・相手を理解すること、そしてその姿勢を相手に示して、安心感を与えることがカウンセリングでは大切だと思いました。



心の支援室 小林善一 室長

◇高等学校初任者研修「教科指導基礎研修Ⅰ」

5月10日(木)に高等学校初任者研修「教科指導基礎研修Ⅰ」が行われました。午前中は長野吉田高校中村弘子教諭及び南安曇農業高校尾曾清博教諭による「教科指導の基本」の実践発表がありました。授業のねらいの明確化及び生徒の実態を踏まえた教材化などを学びました。午後は、教科を中心に5つのグループに分かれて授業力の構築に関して研究協議を行いました。自分の授業実践を発表するとともに他の受講者の発表を聞くことにより課題が明らかになり、課題解決に向けての糸口を見つけることができました。しかし、1グループの人数が多いため意見交換の時間が少なく、議論を深化させることが今後の課題となりました。

<受講者の感想から>

- ・教材作りを徹夜で行う講師の先生の姿に教師の学びに終わりはないと思いました。
- ・他の初任の先生から様々な活動例、工夫、技術などを伺えて充実した時間でした。
- ・学習指導案のどの部分に焦点を絞って発表すればよいかわからず戸惑いました。



授業力の構築に関して研究協議

◇10年経験者研修(小・特)「共通必修研修Ⅰ」

5月17日(火)に幼稚園・小学校・特別支援学校の先生方の10年経験者研修の共通必修研修Ⅰが行われました。日本女子大学の藤田武志准教授による「学校組織における中堅教員の位置と役割」の講義、総合教育センター教職教育部長の講義及びオリエンテーションを通して、1年間の研修への意識づけを図りました。特に、今年度、オリエンテーションに十分時間をかけて説明しました。受講者からの「オリエンテーションでの専門主事の体験談に共感でき不安が取れた」という感想から、あらためてオリエンテーションの重要性を認識しました。

<受講者の感想から>

- ・講義や講演から、10年間の教師としての実践を振り返り、中堅教員として求められる力量とは何か分かりました。広い視野で物事をとらえる必要性和重要性が分かってきました。



日本女子大学の藤田准教授の講義

10年経験者研修のQ & A（補足編）

教職教育部

10年経験者研修について、Q & Aをご案内します。研修を円滑に進めるために、参考にしてください。なお、このQ & Aは、「10年経験者研修の手引（幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校）」及び「10年経験者研修の手引（高等学校）」を補足するものとして作成しました。

Q 1 共通必修研修の期の変更

共通必修研修が学校行事と重なった場合は、どうしたらよいですか？

A1 指定研修（法律で定められた研修）ですので、以下のように対応してください。

- ① 管理職が校内で調整をして、対象者が研修に出られるようにしてください。
- ② 調整がつかず指定日に受講できない場合は、違う校種の同一内容の研修を代替受講してください（「期の変更」）。その際、総合教育センターに連絡をした上で、欠席届（代替受講届）を提出してください。
- ③ 期の変更を検討しても受講できない場合は猶予届を提出し、次年度改めて10年研を受講するようにしてください。

Q 2 教員免許更新制との関連

今年度、10年研と免許状更新講習が重なりました。このような場合、10年研を何日か短縮できると聞いたのですが、それは可能ですか？

A 2 すでに10年研の校外研修の日数を、従来の15日間より5日間短縮する措置を講じて、10日間にしているため、これ以上の短縮はできません。

Q 3 異業種体験研修・社会体験研修の進め方 ①

どのような場所で体験研修をしたらよいか、まだイメージがわかりません。今までどのような研修例がありますか？

A 3 児童・生徒が生活している地域をどのような方々が支えているのか理解できるような場所を選んでください。地域振興をめざす企業、地域の伝統や特産品に関わる企業や工場、福祉施設、自然体験施設、児童・生徒の育成にかかわる職種、企業理念に特色のある企業等がよく選ばれています。

Q 4 異業種体験研修・社会体験研修の進め方 ②

3日間の異業種（社会）体験学習を計画していますが、1つの企業で、都合により2日間しか受け入れてもらえませんでした。残りの1日の研修を、他の企業で行ってもよいのでしょうか？

A 4 できるだけ同じ職場で連続して体験できることが望ましいですが、受け入れ先の都合もありますので、体験の日時が連続でないことや、体験場所が複数になってもかまいません。

Q 5 選択必修研修（授業研究会等）の選択について

所属校が教育課程研究協議会の会場校です。このような場合、選択必修研修として選択できますか？（義務諸学校の場合）

A 5 授業者、校内参加者ともに選択できます。手引に記載された他の研究会も同様です。

教育相談事業へのお問い合わせ，ありがとうございます

当センターの教育相談事業では，子どもたちの健やかな成長を願ってその充実に努めています。具体的には，次の3つの事業を実施しています。

- (1) 幼児，児童生徒の健やかな成長と発達を願う教育相談
 - ア 児童生徒，保護者，教師が抱えている不安や悩み（いじめ，不登校，発達障害など）を傾聴し，心に寄り添う助言を行うとともに，必要に応じて学校や関係機関と連携した支援を実施します。
 - イ 相談の内容や状況に応じて発達検査などを実施します。
- (2) 教職員を対象とした，生徒指導，教材研究，授業研究，情報ネットワークの活用等の教育相談
- (3) 学校の教育課題解決に向けた校内研修の支援
 - ア 校内研修に必要な最新の資料や講師等の情報の提供をします。
 - イ 相談内容に応じて，必要な場合は，条件等を考慮して専門主事を派遣します。

Q1 教科研究等を進めるに当たって，他校の指導案などの参考資料はありませんか？

A1 県内で作成された教育関係の資料を電子ファイル化した「教育実践資料データベース」，当センターに収集されている図書資料の資料名等を掲載した「図書資料データベース」に，ホームページから入ることができます。県内の教育機関のみ閲覧が許可されています。こちらに指導案，指導事例，教材等を蓄積していますので，ご覧ください。（ID，パスワードは，学校へ連絡してあります。）



長野県総合教育センターホームページ

Q2 ぜひ受講したい研修講座が日程等の都合で受講できないのですが，学校でその一部でも研修できませんか？

A2 内容にもよりますが，「校内研修支援」としてご相談ください。教材教具の開発・研究，教科の指導法，発達障害理解など，研修講座で扱っている内容や関連する内容について，学校の実情に合わせて支援します。お問い合わせは，企画開発部（0263-53-8802）です。

Q3 相談したいことがあったときには，どこへ連絡すればいいのですか？

A3 学校運営，教科指導，学級運営等について，いつでも相談に応じています。関係すると思われる担当へ，直接電話連絡をしてください。

- | | | | |
|------------|----|--------------|--|
| ○教科指導等 | …… | 教科教育部 | 0263-53-8803 |
| ○図書館教育等 | …… | 教職教育部 | 0263-53-8804 |
| ○不登校・発達障害等 | …… | 生徒指導・特別支援教育部 | 0263-53-8833（生徒指導）
0263-53-8805（特別支援） |
| ○情報モラル等 | …… | 情報・産業教育部 | 0263-53-8806，8807 |

今からでも間に合う研修講座 (6月・7月中に開催される講座)

5月18日現在

分野	講座番号	講座名	対象	日程	募集人数
教科等	3-1-01-01	小学校1・2年国語基礎A	小特	6/10	5
	3-1-01-05	小学校5・6年国語基礎	小特	7/8	3
	3-1-01-06	中学校国語基礎	中特	6/13	9
	3-1-01-07	国語総合基礎	高	6/17	11
	3-1-03-21	中学校数学「図形」	中特	7/22	15
	3-1-04-04	中学校理科入門（第2分野生物）	中特	7/12	10
	3-1-04-05	中学校理科入門（第1分野物理）	中特	7/26	7
	3-1-04-34	基礎から学ぶ楽しい化学実験	中高特	7/7	9
	3-1-04-41	生命に学ぶ 小学校3・4年理科	小特	6/16	5
	3-1-05-04	英語の授業を英語で行うために	中高特	7/7~8	8
	3-1-05-22	外国語活動・チームティーチング	小特	7/1	11
	3-1-07-02	小学校3・4年音楽基礎	小特	7/12	4
	3-1-07-21	学級担任のための低学年音楽	小特	6/23	9
	3-1-07-22	学級担任のための中・高学年音楽	小特	6/28	12
	3-1-10-21	必修！生物育成に関する技術の学習	小中特	6/16~17	4
	3-1-10-22	エネルギー変換機器と計測・制御①	小中高特	7/1	10
情報・産業	3-3-01-01	学ぼう！著作権 初めての知的財産権	小中高特	7/21	11
	3-4-11-01	農業実習指導法	高(農)	6/23	21
	3-4-12-01	課題研究指導法	高(工)	7/15	8
	3-4-23-21	仮想化技術を活用するネットワーク	高(商)	6/30~7/1	4
	3-4-23-22	ビジネス倫理と社会的責任	高(商)	6/20~21	13
生徒指導・ 特別支援	3-5-01-22	解決志向ですすめる学校教育相談	小中高特	7/12	8
	3-5-02-01	不登校の子どもへの刺激の与え方	小中高特	6/15	7
	3-5-02-21	法律・判例を生かす生徒指導	小中高特	7/28	15
	3-6-02-04	悩み解消！中学校自・情障学級	中	7/11	1

追加募集は10日前まで受け付けています。ホームページで確認して電子申請にて申込みをお願いします。